これまでの住宅マスタープランの変遷

参考資料

	社会経済情勢	住宅マスタープラン	都の動き	国の動き
バブル経済	○地価高騰の影響による住宅価格の急激な上昇 ○低所得層、中堅所得層の住宅問題の深刻化　等	**第1次(H3－12)[H3. 8]** **－ゆとりある住生活の実現をめざして－** **【目標】** ①都民の生活空間にゆとりを広げていく ②職と住のバランスのとれた都市構造をつくって いく	第三次東京都長期計画	大都市法の改正(H2.11) 第6期住宅建設5箇年計画
		＜住宅政策懇談会最終報告(H2.4)の考え方＞ 低・中堅所得層を対象とする施策の充実、東京の都市空間の再編成、民間の経済活力の誘導など	東京都住宅基本条例施行	特優賃法(H5.7)
バブル崩壊、デフレ経済	○災害に強いまちづくりの要請の高まり ○少子高齢化の進展 ○都心部の人口空洞化　等	**第2次(H8－17)[H9. 3]** **－居住の場としても魅力的な東京の実現をめざして－** **【目標】** ①ゆとりと魅力ある居住の実現 ②高齢者・障害者などだれもが安心して暮らせる 居住の実現 ③安全で、快適な居住の実現(災害に強い住宅・		第7期住宅建設5箇年計画 公営住宅法の改正(H8.8)
		＜住宅政策審議会答申(H8.10)の考え方＞ 東京の住宅事情の改善にとどまらず、都民のより豊かな都市生活の創造に寄与していくという発想に立って、東京を魅力ある居住の場とするための	東京構想2000策定	第8期住宅建設5箇年計画
	○成熟社会の到来 ○居住ニーズの多様化　等	**第3次(H13－27)[H14. 2]** **－豊かでいきいきとした東京居住の実現をめざして－** **【東京居住の将来像】** ①活力が生まれる居住 ②ニーズに応じた選択ができる居住 ③だれもが安心して暮らせる居住 ④豊かでいきいきとした居住を支える住宅市街地 **【住宅政策のビッグバンの三つの柱】** ○住宅市場の整備・誘導に向けた民間住宅施策の 新たな形成と展開	東京の新しい都市づくりビ	高齢者居住安定法(H13.8) マンション管理適正化法(H13.8)
		＜住宅政策審議会答申(H13.5)の考え方＞ 「居住政策」としての総合化、ｽﾄｯｸの活用、市場の活用、地域の主体的な対応、説明責任の重視の5つの視点に立った、住宅政策の抜本的見直し		マンション建替え円滑化法 地域住宅特別措置法(H17.8) 住生活基本法(H18.6)、住宅建 住生活基本計画[全国計画]
景気回復	○住宅の安全・安心に係る課題の顕在化(震災、構造計算書偽装問題等) ○環境問題の深刻化　等	**第4次(H18－27)[H19. 3]** **－成熟した都市にふさわしい豊かな住生活の実現に向けて** **【政策展開の基本的方向】** ①良質な住宅ストックと良好な住環境の形成 ②都民が適切に住宅を選択できる市場の環境整備 ③住宅に困窮する都民の居住の安定の確保 **【今後10年間において得に重視すべき視点】**	東京都住宅基本条例全面 10年後の東京(H18.12)	
		＜住宅政策審議会答申(H18.6)の考え方＞ 住宅政策の市場への適切な関与による市場の環境整備、市場に委ねるだけでは達成できない分野の補完等、ソフト、ハードの両面から都民の居住を		住宅ｾｰﾌﾃｨﾈｯﾄ法(19.7)
景気の停滞	○人口減少社会の到来 ○少子高齢化のさらなる進展		都市づくりビジョン改定	長期優良住宅法(H21.6) 高齢者居住安定法改正(H21.8) 住宅瑕疵担保履行法(21.10) 地方分権改革推進計画(H21.12)